

202307010 『第 155 回運輸の日』

10日、大和市、東神トラックステーションにて「第155回 運輸の日」を実施。

今回の担当は、湘南地区連絡協議会のベテランメンバー！

本日は、10時に33度！13時に35度！を記録。とにかく暑い！駐車場では、トラックのアイドリングと重なりかなりの温度になっているだろう。ほとんどのトラックではカーテンが閉じており

仮眠中です。入れ替わりのトラックを見つけてはアンケートの協力をお願いしました。

今回も、安全運転への呼びかけを行いながら、運輸労連本部のWEBアンケートの協力を求めました。

神奈川県連独自の調査として、①4月の時間外労働はどれくらいあったか？又、60時間以上の型については、50%以上の割り増しがあったか？ ②2024年問題について知っていますか？さらには、「トラック運転者の長時間労働改善『特別相談センター』」の案内を会社の経営の方に渡していただく。③ドライバー不足の実感はあるか？ ④運輸労連の全国にある事務所へ相談してほしい という内容。

ドライバーの方には、暑い中、快く応えていただき感謝申し上げます。

問1については、ほとんどのドライバーの方がどれだけ働いたのか？わかっていない方が多くいました。中には、自身でノートに記入し自身でも管理されている方もいました。ぜひ、ドライバーの皆さん！オール歩合であっても、企業から「うちは残業つかないから」といわれても労働時間管理は必ず自身で記録しておいてください。決めつけや思い込みだけでは労働者が損をしてしまいますので、ご自身で記録をつけてください。万が一の場合に、役に立つこともありますので、ご自身の身はご自身で守るために、今日から初めてみましょう。

②については、知っている方が多く、各企業も対応に追われているようです。

③については、実感がないとの答えが多かったようです。

④については、快く「はい」！相談事がないことが一番いいのですが！



本日の行動者

本日は朝から今年一番の暑さ最高気温が 30℃を超える中の活動となりました。

本日も朝からはほぼ満車状態、そんな中時間外労働、2024 問題、ドライバー不足問題などアンケートを実施！

月 60 時間を超える割増賃金率 25%から 50%に引き上がる事の話しをしましたが、無反応、2024 問題は少し知っている方と会社からしっかり説明があった所と様々な結果でした。ドライバー不足はほぼ全員が同じ答えでした。

最後に夏場の活動時間を考えた方がいいと思った一日でした。

伊丹 正彦(ヤマト運輸労働組合湘南支部)

朝からめちゃくちゃ暑く最高気温は 36℃の予報になってました。

トラックは多かったのですがエンジンをかけカーテンを閉めている方がほとんどでアンケートに答えてくれる方が少なかったです。

内容の中では残業時間を把握してないのか 1 日いくらでの方が多かったようです。

歩いて回り始めた途端にもものすごい汗が出て大変でした。

今後は暑い時期を避けたり時間を変えたりした方が良いと思いました。

古越 健之(日通湘南物流労働組合)

気温が 34℃と高温でカーテンを閉めて休んでいるドライバーが多い中、数名にご対応いただきました。全体的に残業時間の認識はないのとドライバー不足はあまり実感がない方が多かったです。2024 年問題は認知されていました。

東神トラックステーションで待機車両はほぼ全車エンジンをかけて駐車していました。『アイドリングストップ』とよく聞きますが待機車両のドライバーは死活問題と思いました。蓄冷式クーラーなど全車標準装備になると良いと思いますし物流業界(ドライバー)の賃金底上げで人材不足を解消できると良いと思いました。

伊東 勇氣(全日通労働組合神奈川支部)

最高気温 35 度近くの猛暑のなか、水分をこまめに取りながらの活動になりました。

カーテンを閉めて休憩されてるドライバーさんが多かったのでアンケート、チラシ配りは難航しましたが、丁寧に受け答えしてくださる方もいらっしゃいました。人手不足、なかなか人が集まらないといった声は多かったです。

午後になり駐車できないトラックがそのまま出て行く事もありトラックドライバーが安心して休憩できるスペースの確保が必要だと改めて感じました。

巽谷 俊介(ヤマト運輸労働組合湘南支部)